



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月30日

上場会社名 株式会社ヨンキュウ 上場取引所 東
 コード番号 9955 URL <http://www.yonkyu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠岡 恒三
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長兼経営企画課長 (氏名) 善家 富夫 TEL 0895-24-0001
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	8,347	1.1	835	438.7	991	239.1	661	301.5
2021年3月期第1四半期	8,257	△16.6	155	△70.4	292	△54.6	164	△56.1

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 934百万円 (30.3%) 2021年3月期第1四半期 717百万円 (72.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	54.25	—
2021年3月期第1四半期	13.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	39,482	30,380	76.9	2,491.43
2021年3月期	38,909	29,690	76.3	2,434.82

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 30,377百万円 2021年3月期 29,687百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	4.4	1,700	△12.5	2,000	△12.5	1,000	△17.4	82.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	12,228,029株	2021年3月期	12,228,029株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	35,087株	2021年3月期	35,057株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	12,192,968株	2021年3月期1Q	12,176,631株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年6月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大（第四波）により、個人消費や経済活動が大きく制限され、その後も東京都に4度目となる緊急事態宣言が発出されるなど、感染が急拡大しており先行きは極めて不透明な状況となっております。

当養殖業界におきましても、外食産業の不振等により鮮魚の取扱量が伸び悩み、経営環境は厳しい状況が続いております。

当社グループの「鮮魚の販売事業」は、主力商品であるタイ・ハマチの販売数量は減少した一方でカンパチや加工品の販売数量が増え、鮮魚全体では前期並みの販売数量となったが、加工品の販売数量増加により増収となりました。また、「餌料・飼料の販売事業」は、生餌の販売数量は増加したものの、配合飼料等の販売数量が落ち込み、売上高は減収となりました。

利益面では、タイ稚魚の販売数量増加や貸倒引当金戻入等により、各利益は前年実績を上回るものとなりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は83億47百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は8億35百万円（前年同期比438.7%増）、経常利益は9億91百万円（前年同期比239.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億61百万円（前年同期比301.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

セグメントの名称	2021年3月期 第1四半期連結 累計期間売上高 (百万円)	2022年3月期 第1四半期連結 累計期間売上高 (百万円)	対前年同期比較	
			金額差異 (百万円)	増減率 (%)
鮮魚の販売事業	5,401	5,538	137	2.5
餌料・飼料の販売事業	2,848	2,791	△57	△2.0
その他の事業	7	17	9	129.8
合 計	8,257	8,347	89	1.1

(注) セグメント間の取引については、相殺消去しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は273億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ41百万円（0.2%）増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の増加、仕掛品の増加、現金及び預金の減少及び貸倒引当金の減少等によるものであります。

固定資産合計は121億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億32百万円（4.6%）増加いたしました。これは主に有形固定資産の増加及び投資有価証券の時価上昇による投資その他の資産の増加等によるものであります。

この結果、資産合計は394億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億73百万円（1.5%）増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は61億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億79百万円（2.8%）減少いたしました。これは主に未払法人税等の減少、支払手形及び買掛金の増加等によるものであります。

固定負債合計は29億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円（2.2%）増加いたしました。

この結果、負債合計は91億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億16百万円（1.3%）減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は303億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億90百万円（2.3%）増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金の増加等によるものであります。

この結果、自己資本比率は76.9%（前連結会計年度末は76.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、コロナ禍で鮮魚の取扱量が伸び悩むなか、一方で魚価が回復傾向にあることなどから、貸倒引当金戻入により各利益は上振れた状況にあります。新型コロナウイルス感染症の感染の急拡大（第五波）による当社業績への影響が懸念されることもあり、2021年5月7日付の「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました連結業績予想は据え置くことといたします。

なお、今後「業績予想の修正等」に関する開示の必要性が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,930,288	19,281,016
受取手形及び売掛金	5,677,342	5,908,292
商品及び製品	538,355	614,270
仕掛品	1,600,982	1,729,393
原材料及び貯蔵品	29,021	29,933
短期貸付金	182,822	168,106
その他	294,896	303,055
貸倒引当金	△944,160	△683,457
流動資産合計	27,309,548	27,350,609
固定資産		
有形固定資産	3,932,398	4,175,740
無形固定資産	168,362	170,222
投資その他の資産		
投資有価証券	6,994,431	7,370,563
その他	1,172,994	1,085,331
貸倒引当金	△668,347	△669,778
投資その他の資産合計	7,499,078	7,786,116
固定資産合計	11,599,839	12,132,079
資産合計	38,909,388	39,482,689
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,085,273	2,251,358
短期借入金	3,172,500	3,172,500
未払法人税等	461,033	168,621
賞与引当金	21,704	6,207
その他	604,135	566,461
流動負債合計	6,344,646	6,165,148
固定負債		
長期借入金	2,044,375	1,951,250
役員退職慰労引当金	221,537	229,060
退職給付に係る負債	283,391	287,920
資産除去債務	35,779	35,891
繰延税金負債	289,370	432,839
固定負債合計	2,874,454	2,936,962
負債合計	9,219,100	9,102,110

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,716,221	2,716,221
資本剰余金	3,652,951	3,652,951
利益剰余金	21,785,160	22,202,806
自己株式	△18,915	△18,976
株主資本合計	28,135,417	28,553,002
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,552,313	1,824,885
その他の包括利益累計額合計	1,552,313	1,824,885
非支配株主持分	2,555	2,690
純資産合計	29,690,287	30,380,578
負債純資産合計	38,909,388	39,482,689

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	8,257,946	8,347,640
売上原価	6,927,820	6,874,801
売上総利益	1,330,125	1,472,839
販売費及び一般管理費	1,175,079	637,596
営業利益	155,046	835,242
営業外収益		
受取利息	23,104	17,133
受取配当金	90,078	107,752
投資不動産賃貸料	7,076	6,854
持分法による投資利益	10,322	17,422
その他	12,899	13,444
営業外収益合計	143,482	162,608
営業外費用		
支払利息	1,326	1,717
固定資産除却損	96	2,340
投資不動産賃貸費用	4,117	2,289
その他	638	115
営業外費用合計	6,178	6,462
経常利益	292,350	991,387
特別損失		
投資有価証券評価損	—	82,420
特別損失合計	—	82,420
税金等調整前四半期純利益	292,350	908,967
法人税、住民税及び事業税	161,787	168,388
法人税等調整額	△34,196	78,978
法人税等合計	127,591	247,366
四半期純利益	164,759	661,600
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	95
親会社株主に帰属する四半期純利益	164,762	661,504

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	164,759	661,600
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	552,147	271,970
持分法適用会社に対する持分相当額	111	640
その他の包括利益合計	552,258	272,610
四半期包括利益	717,017	934,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	716,990	934,076
非支配株主に係る四半期包括利益	27	134

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

四半期連結財務諸表の作成に当たっては、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した2021年9月～10月にかけて収束し、徐々に回復するという一定の仮定及び入手可能な情報に基づき、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損損失の判定等の会計上の見積りを行っております。